

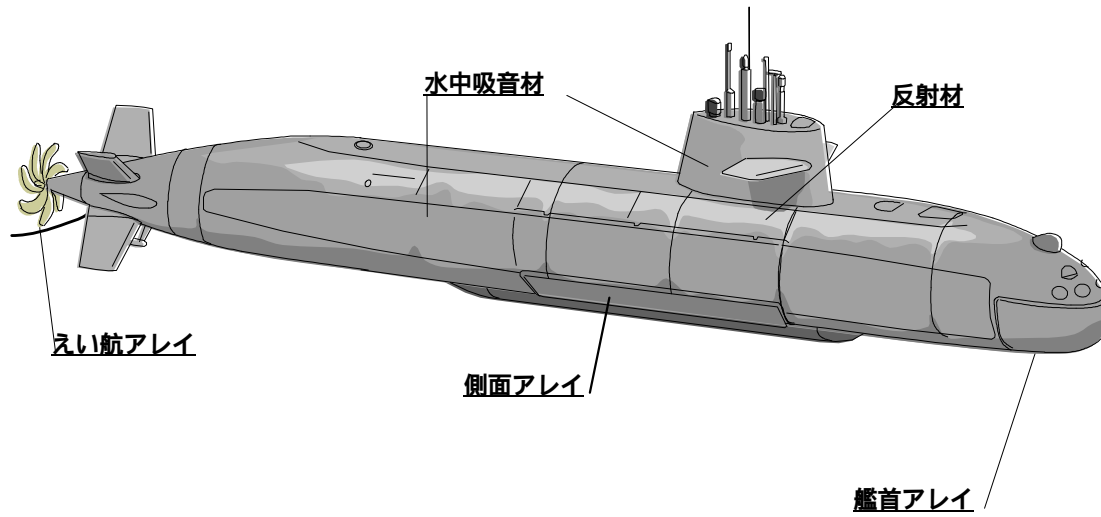
## 参 考 資 料

別紙第1 潜水艦(16SS)の概要図

別紙第2 主要性能対比

別紙第3 基幹部隊の見直し及び主要事業(海上自衛隊)

# 16SSの概要図



潜水艦(16SS)主要性能対比表

		16SS	15SS
基準排水量		2900トン	2700トン
船型		涙滴型	涙滴型
機関形式(軸数)		ディーゼル・スターリング電気推進(1軸)	ディーゼル電気推進(1軸)
速力	スノーケル	13ノット	13ノット
	水中	20ノット	20ノット
主要装備	水雷・情報	武器システム 1式	潜水艦情報処理装置 1式
		(潜水艦ソーナー 1式)	潜水艦ソーナー 1式
		<ソーナー装置 1式>	
		<目標情報管理装置 1式>	
		(対水上レーダー 1式)	対水上レーダー 1式
		(ESM 1式)	ESM 1式
		(水中発射管システム 1式)	
		<発射管制装置 1式>	
		<魚雷発射管 1式>	発射管 1式
		<USM(ハーブーン級)装置 1式>	USM(ハーブーン)装置 1式
		指揮管制支援ターミナル 1式	指揮管制支援ターミナル 1式

## 基幹部隊の見直し及び主要事業（海上自衛隊）

区 分		防衛大綱水準	前中期防完成時 (12年度完成時)	中期防完成時	中期防における主要事業	
海上自衛隊	基幹部隊	護衛艦部隊（機動運用） 護衛艦部隊（地方隊） 潜水艦部隊 掃海部隊 陸上哨戒機部隊	4個護衛隊群 7個隊 6個隊 1個掃海隊群 13個隊	4個護衛隊群 8個隊 6個隊 1個掃海隊群 13個隊	4個護衛隊群 7個隊 6個隊 1個掃海隊群 13個隊	・1個護衛隊を廃止
	主要装備	護衛艦 潜水艦 作戦用航空機	約50隻 16隻 約170隻	53隻 16隻 約170機	52隻 16隻 約170機	護衛艦 5隻を整備 潜水艦 5隻を整備 SH-60J及びSH-60J改 39機、 新掃海 輸送ヘリコプター 2機を整備

この他、中期防では、その他の自衛艦15隻を整備。

## 中期防衛力整備計画（平成13年度～平成17年度）（抜粋）

## 2 周辺海域の防衛能力及び海上交通の安全確保能力

- (1) 艦艇については、護衛艦、潜水艦、掃海艇、ミサイル艇等を建造する。護衛艦の建造に当たっては、護衛艦部隊全般の効率的な在り方に留意しつつ、更新近代化を推進することとし、特に、ミサイル護衛艦（DDG）については対空能力の充実を図るとともに、ヘリコプター搭載護衛艦（DDH）については指揮通信機能及びヘリコプター運用能力等の充実を図る。
- (2) 航空機については、現有の固定翼哨戒機（P-3C）の能力向上のための改修を引き続き行うとともに、哨戒ヘリコプター（SH-60J及びSH-60J改）及び新掃海輸送ヘリコプターを整備する。